

自殺未遂者支援研修(若年層)

近年、自殺者数は減少傾向にあるものの、若年層の自殺者数は増加傾向にあります。

自殺未遂は自殺の最大のリスク因子と言われています。

自殺未遂をした若者への支援を行っている精神科医師及び民間団体の支援者から、若者の自殺未遂(自傷行為)に対する理解と対応について学び、自傷行為や自殺未遂を行う若者へのより良い支援が行えることをめざします。

〔日時〕 令和8年1月29日(木) 14時～17時

〔場所〕 マイドームおおさか 8階 第1・2会議室
(大阪市中央区本町橋2番5号)

内容

○講義「若者の自殺未遂に対する理解と対応について」

関西医科大学 精神神経科学講座 池田 俊一郎氏

○講義「生きづらさを抱える若年層(思春期)の理解について」

認定NPO法人 国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター 北條 達人氏

○グループワーク

〔対象〕

- ①大阪府内(大阪市・堺市を除く)の保健所、市町村の保健・福祉関係部署で精神保健福祉業務を含む相談支援業務に従事する職員
- ②大阪府内(大阪市立・堺市立を除く)の小学校・中学校、高等学校、支援学校、大学、専修・各種学校等教育機関の職員
- ③大阪府内の精神科医療機関(病院、診療所)の職員
- ④大阪府子ども家庭センターの職員

【定員80名】

〔申込み先〕

下記ページ内の申込みフォームまたは二次元コードから申込みください。
こころのオアシス <https://kokoro-osaka.jp/> →研修→自殺対策研修→J-6

〔申込み締切り〕

令和8年1月15日(木) 17時まで

*定員になり次第、締切りとさせていただきます。

*受講いただけない場合は、開催日までに連絡します。

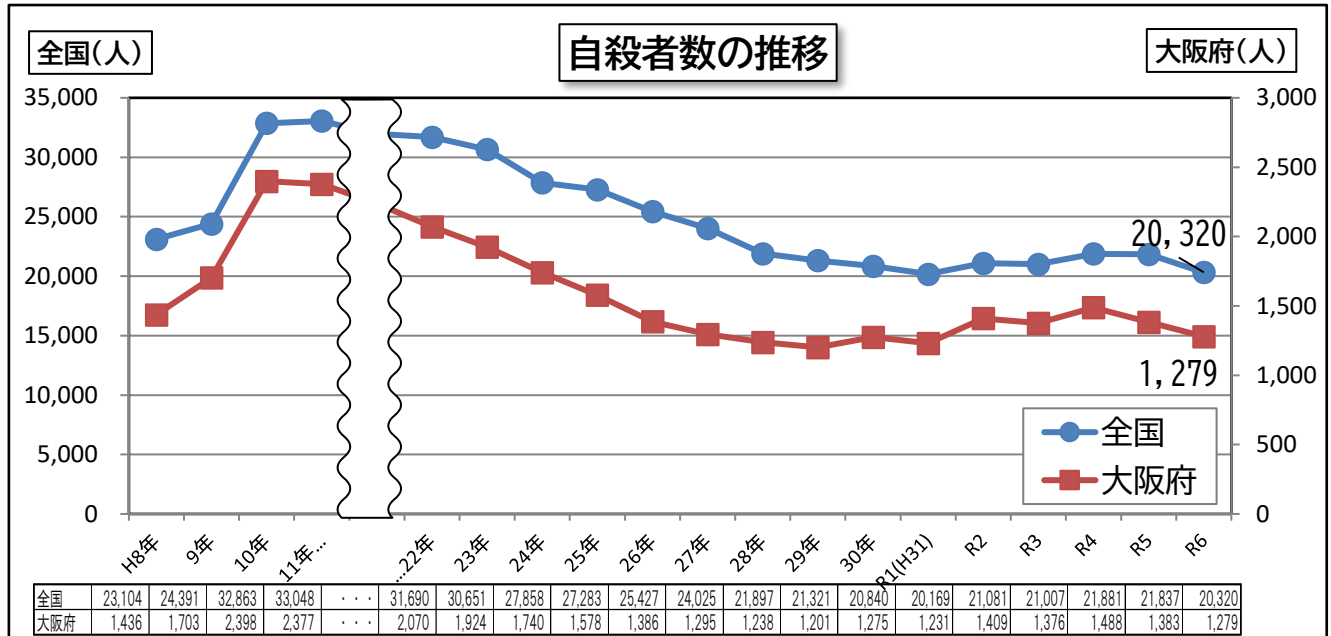
*申込み締切後、当センターよりメールで「受講決定通知書」を送付します。





大阪府の自殺の現状

自殺の多くは、病気や障がい、慢性的な疼痛などの健康問題、倒産や失業、多重債務などの経済・生活問題、介護・看病疲れやいじめなど、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、さまざまな要因が複雑に絡み合い、「心理的に追い込まれた末の死」と言われています。自殺に追い込まれる危機は、「誰にでも起こりうる危機」と言えますが、適切な支援やサポートによって防ぐこともできます。生きることへの包括的な支援をするために、関連機関が相互にかつ密接に連携する必要があります。



令和2年11年ぶりに増加した自殺者数は、令和3年は減少しましたが、令和4年は再び増加に転じ、令和2年より多い状況でした。
令和6年は前年より104人減少して1,279人となりましたが、1日に約4人の方が亡くなっている状況です。

会場へのアクセス

ご来場は、公共交通機関をご利用ください。



Osaka Metro

中央線「堺筋本町」駅

12番出口から徒歩7分

谷町線「谷町四丁目」駅

4番出口から徒歩7分

